

◆ 天理大学男子 初優勝

今年度関西学生弓道懇親射会は12月6日明石市弓道場で行われ天理大学男子が団体初優勝を遂げました。5人立ちで、予選14中、決勝では16中を出し関西学院2位、近畿大学3位を下して1位となりました。決勝の中りは次の通りです。

廣澤 誠哉(2年)	(法隆寺国際)	4中
石橋 雅大	(南部)	2中
吉田 誠央	(高田商業)	3中
鈴木 宏英	(静岡)	4中
長田 雅輝	(橿原学院)	3中

なお、廣澤選手は昨年に続き2年連続予選から決勝まで皆中し、皆中賞を受けました。前年度は新子選手が最優秀射手に選ばれ、団体は3位でしたが、今年は4回生長田前主将を中心に優勝を目標に頑張り練習の成果を発揮することができました。これを機に一層練習に励み来年につなげたいと思いますので皆様のご指導宜しくお願い致します。(監督 久保善宣)

■ 事務局よりのお知らせ



朝吹さん錬士昇格

本連盟会員朝吹五段が錬士に昇格されました。今後一層のご活躍を期待申し上げます。

☆☆ 称号者研修会の日程変更 ☆☆

本年度の称号者研修会を、当初1月23-24日で予定しておりましたが、2月13-14日に変更となりました。称号授有者の方々にはすでに案内を差し上げておりますが、ご周知のほどお願いいたします。

☆☆ 臨時評議員会を開催します ☆☆

来年は役員改選の年になります。規約第9条により「名誉会長・名誉副会長・会長・副会長は、評議員会の決議よりこれを定める」とあり、射初会のあと臨時評議員会を開催する予定です。なお評議員の方へは、あらためてご案内します。



No. 10

今年は高校選抜・インターハイ・中学生大会での優勝、国体少年女子の二位とジュニアの活躍がめざましい年でした。また、インターハイの地元開催では、たくさんの方のご協力をいただきました。今後も中学・高校・一般と連携を深めていきたいと思っております。

私事ですが、悪性リンパ腫の治療も順調に経過し、今年中に化学療法を終えて、年明けには放射線療法を行って終わる予定です。今しばらく、ご迷惑をおかけしますが、春には、復帰できると思っております。よろしくお願いたします。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

■ 第224回審査を終えて

11月29日リニューアルされた奈良市弓道場で、地連審査を行いました。受審者総数107名、2級17名、1級6名、初段25名、弐段8名、参段4名、四段は中井達男(奈良市)、新子修平(五條)、原田祐介(橿原)の3氏でした。合格された皆さんおめでとうございます。

全弓連では来年4月から、新しいシステムに更新されます。今までは、認許状を作成する際、申請書の氏名記載と登録されている氏名とを確認し、できるだけ申請書に記載された氏名を記入するようにしてきました。しかし、4月以降はシステムに登録された氏名がそのまま記入されます。それぞれ、登録されている氏名や生年月日が正しく登録されているかの確認をお願いします。

(よくある例：高が高、濱が浜、濱が濱、實が実、1945年生まれが昭和45年となっている等。)(審査部)

◆ 第27回 奈良女子弓道大会

11月23日(祝) 奈良市弓道場

《団体戦》(3人立、24射)

- ① 橿原高校(藤田葵、山本真悠子、加藤美緒)
- ② 奈良教育大(田中美奈、池田麻由、沖田真理)
- ③ 橿原D(林秀子、林万智子、明崎静代)

《個人戦》

▽ 弐段以下の部

- ① 加藤美緒(橿原高)
- ② 松尾江梨香(天理大)
- ③ 西田祐子(橿原)

▽ 参段以上の部

- ① 中西美津枝(奈良)
- ② 早山和子(奈良)
- ③ 上原怜子(奈良教大)

◆ 第28回全国高等学校弓道選抜大会 兼
近畿高等学校弓道選抜大会県予選会(二次)

11月15日(日) 橿原公苑弓道場

《個人戦》

準決勝(4射3中通過)

女子 参加者34名 予選通過者8名
男子 参加者30名 予選通過者6名

決勝射詰め

女子

- ① 船間 愛理(平城) ② 竹花 愛(高田商業)
③ 森 奈都美(榛生昇陽) ④ 加藤 美緒(橿原)
⑤ 生田 瑞貴(高田商業) ⑥ 中嶋 七海(平城)

男子

- ① 中村 亮太(郡山) ② 高間 光司(橿原)
③ 寺澤 伸太(王寺工業) ④ 山中 大輔(平城)
⑤ 丸 和浩(橿原) ⑥ 新 健吾(桜井)

《団体戦》(決勝リーグ戦)

▽女子

- ① 橿原 4勝1敗46中 藤田・山本・加藤・樋口
② 高田商業 4勝1敗45中 鶴谷・竹花・生田・中家
③ 奈良北 4勝1敗42中 池田・松村・細谷・下垣内
④ 五條 2勝3敗40中 松村・松田・岡島・上野
⑤ 郡山 1勝4敗31中 草田・塚本・中山・岡田
⑥ 平城 0勝5敗24中 大瀬・中田・中嶋・船間

▽男子

- ① 橿原 4勝1敗51中 丸・高間・山本・津田
② 平城 4勝1敗46中 野村・元田・山中・山田
③ 王寺工業 4勝1敗40中 古川・寺澤・爲平・向本
④ 高田商業 2勝3敗36中 山元・本川・渡邊・前川
⑤ 桜井 1勝4敗30中 橋本・関本・新
⑥ 畝傍 0勝5敗29中 古郷・前川・木下・西村

《技能優秀賞》

▽女子

竹花 愛(高田商業)

▽男子

丸 和浩(橿原)

個人の1・2位、団体の1位は3月20～22日に大阪府門真市で行われる全国選抜大会に、個人の1～6位、団体の1～2位(女子は3位まで)は1月17日に兵庫県明石市で行われる近畿選抜大会に出場する。

特別寄稿 第3回

弓馬術礼法小笠原教場の三十世宗家、小笠原清信氏が昭和42年2月にラジオ・テレビで話されたときの原稿の一部を御分けします。(文章、文字は原文のまま)

中埜大学藤原孝澄

(6月号からの続き)

お辞儀は起きる時が大切と申しました。気持ちの通じるにはこの時の間(ま)によります。

今日は座礼を致しましょう。まず座したる姿勢が大事です。膝を短くすわる事。腰を抜き、背を丸くして座ると膝が長くなります。膝を短く座ると背筋は素直に伸び、足掌の上より前に来て大腿筋で重心をカバーしますのでしびれる事も薄くなります。(一部略)脳生理学では、坐る事は脳の衛生によい事で、物を暗記する時等ある程度筋肉を働かせる事が必要だと云ひます。従って物を暗記する場合等歩きながら第一によく、第二には正座する事。碁や将棋で盤をかこんでくると正しく坐り直している場面を見ますのはこの事です。さて坐礼ですが立礼と同じ屈体の礼ですので屈体する事が第一です。勿論その前に相手に対する敬愛の気持ちが必要です。

よく手をどの様につけると指示しますが、手に自分の意識がいくと云う事は相手への気持ちを自分の手に一部をさく事でこれはいけません。まず膝の上に手をおいて頂きましょう。そして正しい姿勢で一吋屈体してみます、手が窮屈でしょう。身体をその俣に手を横に垂らして見て下さい、その方が楽でしょう。次に手を横に垂らしたまゝ更に屈体して下さい、手が窮屈でしょう。手の掌を畳について御覧なさい。その方が楽でしょう。更に屈体して下さい、手が窮屈でしょう。少し手の掌を前にすると楽でしょう。この様に屈体に応じて手が自然に伴って行くのです。起きる時も同じコースを通るべきでしょう。よく膝の前に手をつかせ、それから屈体するお辞儀を指導するのを見ますが、これは身体をくずして腰を落とした場合には、その様な手になります問題はありません。さてしびれて来た事と思ひます。しびれて来る事は普段坐っていない上に、細いズボンや靴を穿いているので無理な坐り方になっているのです。筋肉や血管を締め付けています。そこでシビレを直す事も一つの行動の教養でしょう。

まず腰を上げます、そして足の指を中に折ります。折れればしびれが直った事です。指を伸ばした俣、立とうとする時とひっくり返る様な事になります。(以下 続く)

編集者：吉本会長の闘病はまだ続いています、8-9月のご入院中もこの奈弓連だよりを絶やさず、いつも通り発行できるようにと奥様がパソコンを病院に運ばれ、会長が病室で処理をされるというご尽力もいただき、今年もなんとか大過なく継続できました。投稿いただいた皆さまご協力ありがとうございました。来年はもっと多くのいい知らせをお届けできることを願っています。